

# 鳥取・岡山県境地域の保全と振興に関する令和7年度提言

鳥取・岡山県境議員連盟

## はじめに

江戸時代は、鳥取県と岡山県は共に池田家が治め親戚関係にあった。その県境地域は、古来より「たたら製鉄」や「大山牛馬市」を通じた活発な往来により、行政区画を超えた「ひとつの生活経済圏」として栄えてきた歴史を持つ。中国山地の豊かな自然を共有し、両県の都市部へ注ぐ河川の源流として、また森林資源の供給地として、長年にわたり両県の発展を支えてきた。日本海側や瀬戸内海側の沿岸都市部とは異なり、厳しい気候条件や地形的制約の中にもありながらも、この歴史的背景に裏打ちされた独自の文化と農林業を営み、国土保全という公益的な役割を果たしている地域である。

しかし、現在、人口減少と高齢化に加え、激甚化する気象災害や鳥獣被害など、新たな課題が山積している。このまま地域活力が失われれば、水源涵養や災害防止といった地域の持つ多面的な機能が損なわれ、両県全体の県民生活に重大な影響を及ぼしかねない。

よって、この地域を単なる「通過点」や「周辺部」としてではなく、「両県の環境と暮らしを支える基盤地域」として再評価し、次世代にわたり持続可能な地域づくりを進めるため、鳥取・岡山県境議員連盟として、以下の施策について提言する。

<対象地域及び構成>

鳥取・岡山両県を東西に結ぶ「中国山地エリア」および、その中央に位置する「大山・蒜山エリア」を包含した広域生活・経済圏。



▶ 鳥取岡山県境議員連盟構成議員の選挙区

鳥取県 八頭郡（若桜町・智頭町・八頭町）・鳥取市・東伯郡湯（梨浜町・三朝町・北栄町・琴浦町）・倉吉市・西伯郡（大山町・日吉津村・南部町・伯耆町）・日野郡江府町・日野町・日南町

岡山県 英田郡西粟倉村・美作市・津山市・苫田郡鏡野町・勝田郡（奈義町・勝央町）・真庭市・真庭郡新庄村・新見市

▶ 鳥取・岡山県境推進協議会

鳥取県 鳥取市、倉吉市、若桜町、智頭町、三朝町、日南町、日野町、江府町

岡山県 津山市、新見市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、奈義町、西粟倉村

## 重点要望事項

### I 県境地域の振興（産業振興・次世代投資）

豊富な地域資源（自然・観光・エネルギー）を活かし、外部活力を取り込むための戦略的な投資と産業育成を行うこと。

#### 1 広域観光の推進について

##### （1）「森の芸術祭 晴れの国・岡山」の成果を活かしたアートツーリズムの広域展開

岡山県北部で開催された国際芸術祭「森の芸術祭 晴れの国・岡山」は、県北の自然と現代アートを融合させ、多くの誘客を実現するなど大きな成果を上げた。鳥取県においても令和7年3月に待望の県立美術館が開館し、県民のアートへの関心が高まっている。しかし、これら両県の有力なアートコンテンツは現状では単独の動きに留まっており、県境を跨いだ広域的な周遊・滞在ルートとしての確立や、二次交通の連携には至っていない。

#### 【要 望】

##### ① 県境エリア全体を「屋根のない美術館」とする広域周遊ルートの確立と発信

岡山県の「森の芸術祭 晴れの国・岡山」の常設作品や鳥取県のアート拠点、両県の文化遺産をネットワーク化し、エリア全体を「フィールドミュージアム（屋根のない美術館）」としてブランド化すること。その実現に向け、県境の地域資源を活用した新たなアート展開を支援するとともに、拠点間を繋ぐ二次交通（MaaS（マース）等）の確保や共同プロモーションを行い、「点」ではなく「面」での滞在型観光を両県連携して推進すること。

##### （2）空港（岡山・米子）連携によるインバウンドの推進

岡山・米子の2空港は、それぞれ東アジア主要都市とのネットワークを有し、インバウンドの玄関口として機能している。しかし、現状では各空港を単純往復する利用が中心であり、「岡山空港から入国し、県境エリアを観光して、米子空港から出国する（またはその逆）」といった広域周遊ルートの提案や商品造成が不十分である。

また、空港と県境の観光地をダイレクトに結ぶ二次交通も弱く、個人旅行者（FIT）が山間部へ足を延ばすハードルとなっている。

#### 【要 望】

##### ① 「入る空港と出る空港を変える」オープンジョー型周遊ルートの確立

旅行者が岡山空港と米子空港を使い分ける「入る空港と出る空港を変える旅のスタイル（オープンジョー）」を普及・定着させること。往復移動の無駄を省き、両県を縦断する動線を作ることで、県境地域を「通過点」ではなく「滞在エリア」として組み込んだ旅行商品の造成を、航空会社や旅行会社と連携して推進すること。

## ② 2 空港と県境観光地を結ぶ「縦の二次交通」の強化

2 空港をハブとし、蒜山・大山・三朝・津山などの県境主要観光地を相互に結ぶ広域バスルートや、定額タクシー、レンタカー乗り捨てプランの拡充など、県境を越えた「縦の移動」を円滑にする二次交通ネットワークを整備・強化すること。

## (3) 「中国山地トレイル」の構築と大山・蒜山エリアのブランド化

東西に連なる中国山地の稜線は、欧米豪などで人気が高まるロングトレイル（長距離自然歩道）としての潜在能力を秘めている。また、大山・蒜山エリアは、国立公園として地質学的にも景観的にも一体の価値を有している。しかし、行政区域ごとの個別プロモーションに留まっており、世界水準の「広域リゾート」としての統一ブランドが確立されていない。

### 【要 望】

#### ① 「中国山地トレイル」の構築

大山・蒜山を核とし、東部（那岐山・氷ノ山方面）から西部（船通山・道後山方面）へと続く稜線を、県境を越えて繋がる一つのトレイルコースとして整備・可視化し、インバウンド誘客の起爆剤とすること。

#### ② 大山・蒜山エリアの統合リゾート化

行政区域にとらわれず両エリアを「一つの高原リゾート」として磨き上げ、滞在・体験型観光を促進するための統一ブランド戦略を両県で実施すること。

## 2 デジタル基盤の整備と次世代技術の実証について

県境の山間部は、地形的な条件不利性から、主要道路や観光ルート上においても携帯電話の不感地帯が点在しており、災害時の通信確保や観光客の利便性に課題がある。また、居住エリアの光ファイバ整備は進んだものの、農林業の現場や観光拠点における通信環境（5G等）は脆弱であり、産業DXの推進や、外部活力を取り込む上での大きな足かせとなっている。

一方で、過疎地こそドローン配送や遠隔監視などの新技術（スマート技術）へのニーズが最も高い地域である。

### 【要 望】

#### ① 主要道路・観光地における「不感地帯」の早期解消

県境をまたぐ国道・県道や、主要な登山道・観光スポットにおける携帯電話の不感地帯を解消するため、通信事業者への働きかけや基地局整備への支援を両県が連携して強化し、「命をつなぐ通信網」と「ストレスフリーな観光環境」を確保すること。

#### ② 産業DXを加速させる次世代通信インフラの重点整備

山間部における産業創出（スマート農林業、ドローン物流、自動運転等）や滞在型観光を促進するため、5GやLPWA（省電力広域無線通信）等の次世代通信インフラを、集落単位だけでなく「産業・観光の現場（フィールド）」へ拡張・実装するための支援を行うこと。

#### ③ 「県境実証フィールド」の創出

ドローンによる物流・インフラ点検や、ICTを活用した広域鳥獣対策など、次世代技術の「実証実験フィールド」として県境地域を積極的に開放・活用し、新たな産業集積を図ること。

## Ⅱ 県境地域の維持（生活インフラ・サービスの広域確保）

人口減少下においても、住民生活と安全を維持するため、行政区域を越えた効率的なインフラ管理とサービス提供体制を確立すること。

### 1 災害に強く、交流を支える「グリッド型」道路ネットワークの構築について

県境地域における道路網は、物流・観光の大動脈であり、住民の「命の道」である。

しかし、南北軸となる高規格道路（米子道・鳥取道）の暫定2車線問題に加え、鳥取県中部圏域においては米子自動車道へ直結する自動車専用道路が欠落しており、高速ネットワークの空白地帯となっている。また、西部の峠部（国道180号、181号等）には狭隘・急勾配な難所が残り、これらを横に繋ぐ「東西軸（国道482号）」の災害レジリエンスの強化が必要である。

#### 【要 望】

#### ① 鳥取県中部圏域と米子自動車道を直結する「南北自動車専用道」の早期実現

北条湯原道路の整備効果を最大化し、鳥取県中部から米子自動車道へシームレスに接続するため、規格の高い新たな自動車専用道路の整備に向けた調査・検討を早急に開始すること。これにより、鳥取道・米子道と相互補完する強靱な「第3の南北軸」を確立すること。

#### ② 既存高規格道路の機能強化

鳥取自動車道の一般道区間の解消や、鳥取・米子自動車道の4車線化を加速させ、冬期の安定輸送と定時性を担保した強靱な広域道路ネットワークを完成させること。

#### ③ 峠部（国道）の改良と「東西軸」の強化によるリダンダンシー確保

県境の峠部（国道53号、180号、181号等）の改良・防災対策を進めるとともに、南北軸を相互に連絡する「国道482号（東西軸）」の整備促進を図ること。これにより、災害時にも複数のルートで救助・物資輸送が可能となる「途絶しない道路ネットワーク」を構築すること。

## 2 県境を越えた広域医療と救急体制の確立

二次医療圏は県単位で設定されているが、実際の受療行動や救急搬送は、以下のように全域で行政区域を越えて展開されている。

- 東部（八頭・美作・津山圏域）： 鳥取自動車道の供用により、岡山県北東部から鳥取市への搬送等、高速交通網を介した相互補完的な受療圏が形成されている。
- 中部（倉吉・蒜山圏域）： 地理的条件により、岡山県蒜山地域から鳥取県中部への搬送が常態化しており、生活圏と医療圏が一体化している。
- 西部（日野郡・新見圏域）： 日野郡3町と新見市が近接し、地域医療を相互に支え合うとともに、高度・急性期医療においては米子市を含めた重層的な連携体制にある。

### 【要 望】

#### ① 実態に即した広域医療連携の推進

各圏域の患者流動などの実態を精査し、既存の行政区分にとらわれない「広域的医療圏」の存在について両県で認識を共有すること。

#### ② 救急搬送体制および代替輸送路の強靱化

ドクターヘリの広域連携運航や、県境を越えた「最短・最適」な医療機関への収容体制を堅持すること。また、悪天候時等の陸送リスクを低減するため、救急搬送の定時性・速達性を担保する幹線道路網の整備・改良を促進すること。

### Ⅲ 県境地域の連携（合意形成とビジョンの共有）

個別の課題解決にとどまらず、中長期的視点に立った広域連携を推進するための枠組みを強化すること。

#### 1 両県知事・議連・県境自治体推進協議会との連携

これまでも「鳥取・岡山県境連携推進協議会（市町村レベル）」等の枠組みはあるが、人口減少やインフラ維持といった構造的な課題に対し、より高いレベル（県知事・県議会）での政治的意思決定とビジョンの共有が必要となっている。個別の要望活動にとどまらず、中国山地エリア全体の将来像を描く「場」が不足している。

#### 【要 望】

##### ① 「鳥取・岡山県境連携会議」の定期開催

人口減少下における県境地域の在り方（グランドデザイン）を共有し、具体的な施策を検討、推進するため、両県知事を筆頭に、本議員連盟および鳥取・岡山県境連携推進協議会（市町村長）が一堂に会する協議の場を定期的で開催すること。

##### ② 「県境広域ビジョン」の策定

上記の協議の場において、産業振興・交通・医療など分野横断的な「県境地域の維持・活性化に関する中長期ビジョン」を策定し、両県の総合計画等へ反映させること。

鳥取岡山県境議員連盟加盟議員（令和8年1月末現在）

鳥取県 八頭郡選挙区（若桜町・智頭町・八頭町） 2

福田俊史・前住孝行

鳥取市選挙区（鳥取市） 12

福浜隆宏・東田義博・山本暁子

東伯郡選挙区（湯梨浜町・三朝町・北栄町・琴浦町） 3

伊藤保・語堂正範・入江誠

倉吉市選挙区（倉吉市） 3

川部洋・鳥羽喜一

西伯郡選挙区（大山町・日吉津村・南部町・伯耆町） 2

鹿島功

日野郡選挙区（江府町・日野町・日南町） 1

内田博長

岡山県 美作市・英田郡選挙区（西粟倉村・美作市） 1

市村仁

津山市・苫田郡・勝田郡選挙区（奈義町・勝央町・津山市・鏡野町） 4

山本雅彦・清水薫・本山紘司・小原なおみ

真庭市・真庭郡選挙区（真庭市・新庄村） 1

河野慶治

新見市選挙区（新見市） 1

小林義明

（※下線部は県境域に隣接する市町村）